

開講科目名 Course	租税法研究 (B) / Tax Law III (B)
時間割コード Course Code	13340
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2021年度 / Academic Year 後期
曜限 Day, Period	月 / Mon 5
開講区分 semester offered	後期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2,3,4
主担当教員 Main Instructor	山田 麻未
科目区分 Course Group	公法関係科目群
教室 Classroom	
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	山田 麻未 (法学部)
授業の目標	
授業の概要	<p>1. 授業の概要</p> <p>授業の目的</p> <p>租税法の基本的な考え方を理解し、税制が変わっても実務で長く使えるようその構造を把握する。租税法における基本的なアプローチを確認し、なぜそのような考え方や取扱いになるのかについて講義し、修士論文作成のための基礎力を養成する。</p> <p>授業の進め方</p> <p>本授業の内容は、講義とグループディスカッション、小レポートで構成されている。租税法上の重要な項目について、その理論と課題を理解するため、重要判例を取り上げる予定である。授業を通じて、応用の効く基礎学力の養成を目指す。</p> <p>授業内容 (B)後期</p> <p>第16回 イン트로ダクション 第17回 各種所得の意義 第18回 担税力 第19回 所得概念 第20回 借入金の取扱い 第21回 心理的満足とフリンジベネフィット 第22回 通達課税の是非 第23回 所得分類 第24回 借用概念 第25回 租税法の解釈手法 第26回 租税行政の組織 第27回 税務行政の実状と課題 第28回 国税不服審判所の役割 第29回 国税庁の任務と税理士の役割 第30回 まとめ</p> <p>2. 評価方法</p> <p>出席及びグループディスカッションへの取り組み等で評価する。</p>
評価方法	

教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	
授業計画	
テキスト	金子宏ほか編『ケースブック租税法（第5版）』（2017年、弘文堂） 中里実ほか編『租税判例百選（第6版）』（2016年、有斐閣） 中里実・増井良啓編『租税法判例六法〔第4版〕』（有斐閣、2019年） その他、講義の中で適宜紹介する。
参考書	金子宏『租税法〔第23版〕』（弘文堂、2019年） 清永敬次『税法〔新版〕』（ミネルヴァ書房、2013年） 浅妻章如・酒井貴子『租税法』（日本評論社、2020年） 岡村忠生ほか『租税法〔第2版〕』（有斐閣、2020年） 佐藤英明『スタンダード所得税法〔第2版補正2版〕』（弘文堂、2020年） 谷口勢津夫『税法基本講義〔第6版〕』（弘文堂、2018年） 谷口勢津夫ほか『基礎から学べる租税法〔第2版〕』（弘文堂、2019年） 中里実ほか編『租税法概説〔第3版〕』（有斐閣、2018年） 増井良啓『租税法入門〔第2版〕』（有斐閣、2018年） 渡辺徹也『スタンダード法人税法〔第2版〕』（弘文堂、2019年）
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	
フィードバックの方法	
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	
使用言語	
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	